

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カルビー(株)西日本事業本部 広島工場西棟

(2) 事業所の所在地

広島県廿日市市木材港北10番20号

(3) 業種

その他のパン・菓子製造業

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成27年度から平成31年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量														
実績に対する 自己評価														

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産製品重量(トン)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成26年度	平成27年度	平成31年度	平成32年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	
エネルギー 起源CO2	0.984		0.9348		0.9807									
非エネルギー 起源CO2			5.0		0.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
メタン			0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素			0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フロン類			0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計			0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)	0.4279		0.4065		0.4346									
			5.0		-2.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績に対する 自己評価														

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	都市ガスの使用量を原単位で2.8 <sup>t</sup> 削減	高効率型GHPに順次更新 排熱の有効利用
2	電気使用量の削減	電気使用量を6.3 <sup>t</sup> 削減	高効率空調機への更新 高効率照明器具への更新 インバーター制御装置導入 不要設備・不要照明の撤去など
3	生産効率の向上		設備稼働率を高くして、生産する
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量を10 <sup>kg</sup> 削減	裏面利用 分別収集及び資源化の徹底
2	リサイクル率の向上	リサイクル率を99 <sup>%</sup> 以上	廃棄物のリサイクル化
3	その他		社会貢献活動

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。